

# あじさいネット OFF LINE 通信

2017.7  
Vol. 23

Regional Health Information Network



鐘楼と夕陽（新上五島町：中通島）

## 特集：一歩進んだ医療連携「病病連携」

これまでと何が変わる？ p.2  
病病連携でさらに進む医療連携 p.3

## あじさいネット機能紹介

【医療関連ビデオ配信】コンテンツ紹介（前編） p.4-5

## あじさいネットのキーパーソンに聞く

ジャパンメディアシステム株式会社 安田 夕美氏 p.6  
株式会社イーダクトル 脇田 敏之氏

## 会員様の声

**情報提供病院** 長崎大学病院 本田 琢也先生 p.7

あじさいネットからのお知らせ／あじさいな人々／編集後記 p.8

**お役立ち** 情報提供病院 連絡先一覧表 別紙

## 現在の運用状況

- 患者登録数： 66,412 名
- 会員数： 1,096 名
- 情報閲覧施設数： 308 施設
- 情報提供病院数： 33 施設※ 2017年7月10日より  
(平成29年6月15日現在)

## 賛助会員

- ◆ (株) ホギメディカル福岡営業所
- ◆ 日本電気 (株) 医療ソリューション事業部
- ◆ (株) L S I メディエンス
- ◆ 富士通 (株) 長崎支店
- ◆ (株) NTTデータ 公共システム事業本部
- ◆ オフィスメーション (株)
- ◆ (株) ディーソール NSP



特定非営利活動法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）  
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp

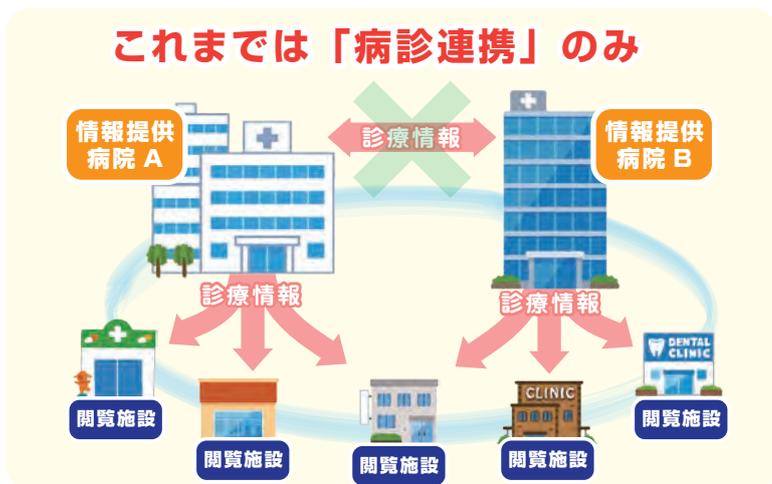
# 病病連携

総合病院が公開する診療情報を、地域の医療機関が閲覧する「病診連携(病院と診療所の連携)」を進めてきたあじさいネット。それがほぼ県内全域をカバーしつつある今、一歩進んで「病病連携」を実現しようとしています。

## これまでと何が変わる？

### 連携を妨げていた要因

これまでも病院間の連携を待ち望む声はありました。しかし、強固に守る



**情報提供病院は「閲覧」ができなかった**  
あじさいネットはこれまで、総合病院が「情報提供病院」となって公開する診療情報を、地域の医療機関が閲覧する「病診連携(病院と診療所の連携)」を広げてきました。  
一方で、情報提供病院同士は互いの公開情報を閲覧することができませんでした。

### 「病病連携」本格運用へ

テスト運用をしていた15病院に加え、新規情報提供病院の2病院を合わせた17病院で、まもなく協定書が取り交わされて調印式が行われます。これにより、本格運用がいよいよ開始します。



れた情報提供病院のデータを相互に連携させるには、診療情報のコピーを制限するシステム改修が必要だったことや、個人情報保護に関する法的な問題など、様々な課題がありました。  
それらを一つ一つクリアし、ようやく昨年9月より長崎地域および五島地域の計15病院において、連携のテスト運用がスタートしました。

《賛助会員様広告欄》

私たちはグループ丸となって、長崎力を最大限活用し、企業理念の実現を目指します。

臨床検査向けシステムの開発において、最適で最高のシステムをお客様にご提供いたします



D-solution ディーソルグループ

株式会社ディーソルNSP

代表取締役社長 今村 勇雄

〒850-0057 長崎県長崎市大黒町 11-8 長崎東京生命館7階 Tel: 095-821-4361 Fax: 095-821-4362

## 病病連携でさらに進む医療連携

できる!

### 病院転院時の連携や、情報の閲覧

現在情報提供病院で治療を受けている患者さんが別の情報提供病院に移ることになった時に診療情報を引き継ぐことができます。

もちろん、転院時に限らず過去の診療情報を閲覧することも可能です。

これまでのあじさいネットで行われていた「病診連携」と同様のことが、情報提供病院同士でもできるようになります。

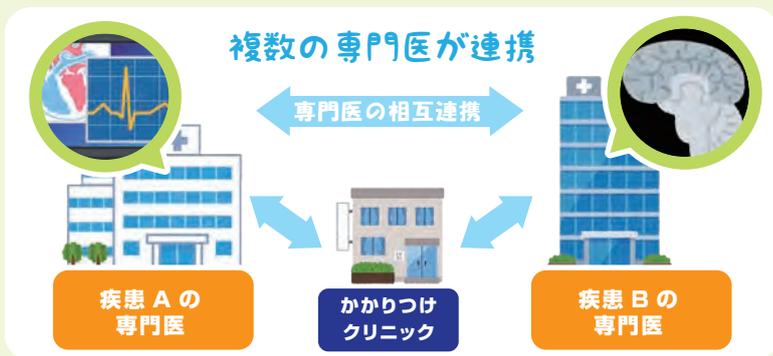


できる!

### 複数の専門医との綿密な連携

重い疾患を複数抱えた患者さんが、それぞれについて違う病院で専門医の治療を受けている場合、これまではかかりつけ医と病院の連携はできても専門医同士の直接連携ができませんでした。

これが病病連携によって専門医同士の連携も実現し、より高品質な医療を患者さんに提供できるようになります。



できる!

### 救急搬送における連携

救急搬送された急性期病院で、より高度な治療が必要と思われた場合に、転送先となる三次救急病院等とあらかじめ情報を共有します。

情報を共有した上で的確な転送の判断や治療方針の決定などができるので、医療資源の最適活用が可能です。到着後すぐに適切な治療に入ることができます。

2017年度中の運用開始を目指して、新様式の同意書作成や24時間対応窓口の開設などの準備が現在進められています。



「病病連携」は、長崎地域15病院と五島地域2病院の計17病院において連携協定書の調印式を行ない、正式運用開始となります。調印式の日程については、決まり次第あじさいネットホームページや会員メーリングリストでお知らせいたします。

《賛助会員様広告欄》

**NEC**

ともに奏で、ともに創る。私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、  
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

**Orchestrating a brighter world**



ビデオ配信の  
閲覧方法は  
広報誌Vol.17の  
9ページを  
ご覧ください。



# 医療関連 ビデオ配信

## 現在視聴できるコンテンツの紹介

医療関連ビデオ配信とは  
動画サービスです。医療従事者の知識・技能向上を目的として行われている研修会や講演会を  
いつでも視聴できるよう配信することで会員の生涯学習に貢献しています。

■ 周産期関連 ■ がん関連 ■ 糖尿病関連 ■ 脳 ■ 多職種連携関連 ■ その他

講演会・研修会名	開催日	演者名 肩書「演題名」
<b>第2回医療介護従事者を対象とした多職種連携研修会</b> <b>テーマ</b> 多職種協働で守る口と体の健康  多職種連携での歯科の存在の重要性がわかる講演が満載です。	2017/03/12	<b>林田有貴子先生</b> 所沢市 有記歯科クリニック 院長 「歯科から始める多職種連携」  <b>尾上庸恵先生</b> 所沢市 有記歯科クリニック 歯科衛生士 「気づく〜つなげる 多職種連携のための歯科衛生士からの取り組み」  <b>元廣緑先生</b> 広島市口田地域包括支援センター センター長／主任介護支援専門員 「必須! 歯科医療従事者が多職種連携をするための基礎知識〜せめてこれだけは知ってほしい〜」  <b>早乙女裕彦先生</b> 広島市 さおとめ歯科医院 院長 「在宅療養支援歯科診療所(訪問専門)における多職種連携の実例とキーポイント」
<b>第1回医療介護従事者を対象とした多職種連携研修会</b> あじさいネットを利用した在宅医療について学べる研修会です。	2017/02/21	<b>奥平定之先生</b> 長崎Dr.ネット理事／奥平外科医院 院長 「あじさいネットを利用した多職種連携の現状と課題」
<b>平成28年度 第2回長崎県がん診療連携拠点病院研修会</b> 医療従事者だけでなく、女性にとってもためになる研究会です。	2017/01/11	<b>北島道夫先生</b> 長崎大学病院 産婦人科 「がんサバイバーのQOL:がん治療と生殖機能〜女性の妊孕性温存を中心に〜」
<b>第94回長崎医学会総会</b> 日本の医療の課題と崩壊についてわかる講演です。	2016/12/14	<b>小柳仁先生</b> 東京都女子医科大学 名誉教授 「時空を超えた半世紀〜日本の医療崩壊をどう防ぐのか」
<b>第94回長崎医学会総会</b> 形成外科診療の最前線を豊富な実例と共に紹介しています。	2016/12/14	<b>田中克己先生</b> 長崎大学病院 形成外科 「形成再建外科の現状と展望」
<b>認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット 第9回イブニングセミナー</b> 西村先生は5月31日に逝去されました。最後までがん患者のために一心不乱に活動された心に響く講演です。	2016/12/02	<b>西村元一先生</b> 金沢赤十字病院 副院長兼消化器病センター 第一外科部長 「がん治療医が"がん"となり、見えたこと、考えたこと!」
<b>脳のトリセツセミナー</b> 自分の脳のタイプや睡眠のとり方がわかる楽しいセミナーです。	2016/11/29	<b>菅原洋平先生</b> ユークロニア株式会社 代表 「あなたの明日を変える脳の話」
<b>長崎県 医療的ケアが必要な在宅小児等への支援事業 第3回 小児等在宅医療症例検討会</b> それぞれの立場からの小児等在宅医療症例を紹介しています。	2016/09/14	<b>山田梨絵先生</b> 相談支援事業所 ネットワークひかり 「M君島原へ!〜諫早から島原への引っ越し〜」  <b>宇土真美先生</b> 相談支援事業所 ネットワークひかり 「家族とともにおうちで過ごすための社会的な準備をめざして」
<b>認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット 第6回 市民公開講座</b> <b>テーマ</b> 意外とよかばい、長崎の在宅医療  長崎に住んで良かったと思える患者さんが急増中!! 長崎在宅Dr.ネットの活動と 様々な職種が連携して在宅医療や地域医療を 支えていることがわかりやすく説明されています。	2016/07/23	<b>土屋知洋先生</b> 長崎Dr.ネット理事／ちひろ内科クリニック 院長 「住み慣れた家で最期まで過ごせることをサポートする 長崎在宅Dr.ネットについて」  <b>金子和美先生</b> 長崎看護協会訪問看護ステーションYOU 「うちに帰ろう!訪問看護がお手伝いします」  <b>佐田悦子先生</b> アクア薬局 「意外とよかばい 長崎の在宅医療〜薬剤師編〜」  <b>古川美和先生</b> 長崎市医師会医療センター診療所 「意外とよかばい 長崎の在宅医療〜それいけ!管理栄養士〜」



<p><b>第1回 クリティカルバス大会</b> 2016/06/17</p> <p>バスについて大いに学べる講演です。</p>	<p><b>西澤延宏先生</b> 佐久総合病院 副統括院長 「バスでいい仕事しませんかーさらなる多職種連携を目指してー」</p>
<p>長崎県 医療的ケアが必要な在宅小児等への支援事業 2016/05/11</p> <p><b>第1回 小児等在宅医療連携講習会</b></p> <p>小在宅医療の診療報酬評価された部分がわかります。</p>	<p><b>下村千枝子先生</b> 下村クリニック 院長 「2016年診療報酬改定の中で小児在宅医療に係わる部分」</p> 
<p><b>まちなかラウンジ市民健康講座</b> 2016/03/19</p> <p><b>いのちにやさしいまちづくり</b></p> <p><b>テーマ</b> 長崎の地域包括ケアシステムの構築を目指して</p> <p>今、長崎市の地域包括ケアで進んでいること動いていることがわかる講座です。</p>	<p><b>藤井卓先生</b> 長崎市医師会副会長／藤井外科医院 院長 基調講演「在宅医療と地域包括ケア」</p> <p><b>磯政子先生</b> 聖フランシスコ病院地域連携科 「地域包括ケアシステムにおける病院の役割～看護の立場から～」</p> <p><b>松尾文江先生</b> ケアプランセンターゆめライフ 「在宅医療と介護連携について～介護支援専門員の立場から～」</p> <p><b>山口伸一氏</b> 長崎市地域包括ケアシステム推進室 「長崎版地域包括ケアシステム～いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために～」</p> <p>シンポジウム「在宅医療と介護連携について、一緒に考えてみませんか 質疑応答」</p>
<p><b>糖尿病対策推進会議 糖尿病診療研修セミナー</b> 2016/03/17</p> <p>最新の糖尿病治療がわかるセミナーです。</p>	<p><b>瀧野博文先生</b> 長崎県糖尿病対策推進会議 幹事／長崎県糖尿病検討委員会 委員／長崎県糖尿病連携バス研究会 議長／長崎県LCDE準備委員会 委員長 「最新の糖尿病治療」</p> 
<p>認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット 2016/02/12</p> <p><b>第13回病診・診療連携学術講演会</b></p> <p>話題の地域包括ケアシステム「幸手モデル」を学べる講演会です。</p>	<p><b>中野智紀先生</b> 東埼玉総合病院 代謝内分泌化・地域糖尿病センター センター長 「地域包括ケアからケアする社会へ～地域包括ケアシステム幸手モデル」</p>
<p><b>全国がん登録制度に係る説明会</b> 2016/01/29</p> <p>2016年1月からがん登録制度がスタート！適切ながん医療の提供と質の向上をめざしてがん登録の理解が深まる説明会です。</p>	<p><b>早田みどり先生</b> 放射線影響研究所 疫学部 「全国がん登録の意義について」</p> <p><b>藤原勝浩氏</b> 長崎県医療政策課 「がん登録推進法の概要につきて」</p> <p><b>早田みどり先生</b> 放射線影響研究所 疫学部 「全国がん登録届出マニュアル」</p> 
<p>長崎大学病院 2016/01/29</p> <p><b>平成27年度第2回がん地域連携バス研修会</b></p> <p>最新の大腸がんの診療と地域連携バスの現状がわかる研修会です。</p>	<p><b>竹下浩明先生</b> 長崎大学病院 第一外科 「最先端の大腸がん治療」</p> <p><b>井上悠介先生</b> 長崎大学病院 移植・消化器外科 「大腸がん地域連携バスの現状と問題点」</p> 
<p>KTN テレビ長崎にて放送 2016/01/03</p> <p><b>日本医師会テレビ健康講座 ふれあい健康ネットワーク</b></p> <p>あじさいネットを使った在宅医療の様子がよくわかる放送です。</p>	<p><b>奥平定之先生</b> 長崎Dr.ネット理事／奥平外科医院 院長 <b>藤井卓先生</b> 長崎市医師会副会長／藤井外科医院 院長 <b>牟田幹久先生</b> あじさいネット理事／むたクリニック 院長ほか 日本医師会テレビ健康講座 ふれあい健康ネットワーク「ICTを用いた長崎県の地域医療連携」</p>
<p>長崎県周産期医療支援システム 2015/12/12</p> <p><b>講演会</b></p> <p>周産期支援ネットワークの魅力がわかる講演会です。</p>	<p><b>小笠原敏浩先生</b> 岩手県立大船渡病院 副院長 医療研修科長／周産期医療課長 産婦人科長 感染管理室長 「岩手県周産期医療情報連携ネットワークシステム”いーはとーぶ”による地域連携」</p>
<p>長崎県 2015/12/06</p> <p><b>平成27年がん検診精度管理医師等研修会</b></p> <p>長崎はがん死亡率全国でワースト5位！がん検診技術の向上につなげ早期発見で一人でも亡くなる人を減らすことを目標とした研修会です。</p>	<p><b>中園貴彦先生</b> 佐賀大学病院 放射線部 准教授 「肺癌の画像診断～胸部単純X線写真読影のポイント～」</p> <p><b>松浦隆士先生</b> 国家公務員共済組合連合会浜の町病院 副院長 「胃癌のX線検診と現状と今後の展開」</p> <p><b>田原直彦先生</b> 国立病院機構 九州医療センター 光学診療部長 「より良い胃がん内視鏡検診を目指してーこれからの戦術と戦略」</p>

## あじさいネットでは動画を大募集しています

撮影後の動画データや公開可能な動画データ、またはあじさいネットでは非公開してほしい動画データなどがありましたら、あじさいネット拡充プロジェクト室までお送りください。

なお、あじさいネットで公開するには演者の承諾書が必要になります。承諾書はホームページからダウンロードできますので、必要事項をご記入の上、動画データと合わせてあじさいネット拡充プロジェクト室までお送りください。

※動画データの内容・形式等は変更される場合があります。

### 応募方法

- ①あじさいネットのホームページからビデオ配信の承諾書をダウンロードする
- ②承諾書に必要事項を記入
- ③演者に承諾書へサインをしてもらう
- ④公開してほしい講演や研修会を撮影する
- ⑤公開してほしい動画をDVDまたはCDに焼く
- ⑥承諾書とDVD(またはCD)をあじさいネット拡充プロジェクト室へ送付



# あじさいネットのKEY PERSONに聞く 7つの質問



## 株式会社イーダクトル

イーダクトルは、ICカードなどの物理メディアと顔や指紋といった生体情報を組み合わせて個人認証するソリューションを中心に製品を開発提供している企業です。一方で既存の製品にこだわらずお客様とともに新しいことにチャレンジ出来る企業です。

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目20-19  
新大阪ヒカリビル  
TEL：06-6324-6222 FAX：06-6324-6211



## ジャパンメディアシステム株式会社 (Japan Media Systems Corporation)

ジャパンメディアシステム(株)はクリエイティブな発想とオリジナルの技術で医療現場のコミュニケーション改革に貢献する企業です。

■本社  
東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F  
TEL：03-3252-8111 FAX：03-3252-5234  
■大阪支店  
大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21MIDタワー31F  
TEL：06-6947-6800 FAX：06-6947-6363

**取締役部長 脇田 敏之 氏**  
安田..お恥ずかしい話なのですが、2011年に関わらせていただくまで、あじさいネットのよるな進んだ地域医療連携の仕組みがあることを知りませんでした。電子カルテの共有ひとつにしても、患者さん、医療提供

側、行政...と関係者全てにメリットがあり素晴らしい仕組みだと思えます。  
**今後のあじさいネットに期待する事はありますか？**  
脇田..まず、さらにTV会議(A-ME-C)を利用される方が増えていくことを期待しております。また、あじさいネットを利用した斬新なサービスを企画される際には、是非お声をかけて頂ければと思います。

**あじさいネット上のLive On 開発秘話や苦労話など ありましたら教えてください**  
安田..あじさいネットは規模が大きく関係者も多いため、関係各所との連携が少し大変でした。毎回拡充室の方に仲介していただきましたが、これを各システムベンダー、ネットワークベンダーと行っているのかと思うと頭が下がります。(ただ本当のことを申し上げると、一番大変だったのは松本先生の無理難題に因應することでした(笑)。もちろんその無理難題は必要なことだったのですが...) **Live Onと他TV会議が違う所を教えてください**

**イーダクトル様、JMS様から見て、あじさいネットはどのように感じますか？**  
脇田..あじさいネットの印象は計画されたプロジェクトが立ち上がって、確実に実行されていて、それが継続されている。なかなかこうはいかないと思っております。何年もプロジェクトを維持するのは結構知恵のいることだと思います。あじさいネットはひとつのインフラでTV会議システム(A-ME-C)以外にもいくつサービスが利用者目線で提供されていて、そのあたりの工夫が続いている理由のひとつなのかなと感じています。

**あじさいネットとの関わりはいつ頃から、どのような案件でしたか？**  
脇田..前の担当者の池田さんのときからになりますので、2011年の終わりあたりからだったと思います。当時創業して3年目で自社システムのみを販売しておりましたが、他社様システムをカスタム提案する初めての機会でした。ジャパンメディアシステム様には、大変ご協力をして頂きました。

**安田..2011年からテレビ会議システムの検討が始まり、イーダクトルさんからお声がけいただいたのがきっかけです。**

**安田..これからさらに離島やへき地のネットワーク環境は良くなっていくと思います。そうなれば、テレビ会議も快適に利用できるようになります。ネットワーク環境や、診療報酬の問題などをクリアし、遠隔医療の分野でもテレビ会議を活用していただけるようになればと考えています。**

**安田..音声のクリアさと、多拠点をつないでも安定して使えるところが他の会議システムと圧倒的に違うところです。あとは自社開発なのでお客様のご要望に応じて柔軟にカスタマイズができることも特徴です。おかげさまで医療業界でも多くご導入いただいています。**

**長崎に来られる時、必ず行く場所や店がありますか？**  
脇田..お昼ご飯は浦上駅前「ひぐち」の日替わりランチです！  
**安田..空港からのバスが止まって便利なこともあり、ココウオーク茂里町の五島うどん屋さんにはよく行きます。五島うどんは関西のうどんにはないツルンとした食感で、本当においしいです！**

**長崎はどのように感じますか？**  
脇田..長崎市内が中心になるのですが、市電は便利ですね。それと安い！次から次に市電が来るので電車を待つ間隔が少なくストレスが無いです。出張が割と多いので、他都市でも「こんなのが有ればな」と思います。

**安田..フレンドリーで親切な方が多いように感じます。飲食店やタクシーなどでも冷たい印象を受けたことが一度もないです。あと長崎の方には当たり前かもしれないませんが、「出島」という地名を聞いた時は「教科書にのっていた出島!」と興奮してしまいました。歴史を感じられる街と、おいしい食事、フレンドリーな方たち...初訪問の時から好きです！**

**安田..空港からのバスが止まって便利なこともあり、ココウオーク茂里町の五島うどん屋さんにはよく行きます。五島うどんは関西のうどんにはないツルンとした食感で、本当においしいです！**

《賛助会員様広告欄》

安心と安全を届けます **NTT Data**  
Global IT Innovator

# 拠点病院の先生から在宅の先生へ スムーズな移行が可能に

ほんだ たくや  
長崎大学病院 助教・がん薬物療法専門医 本田琢也 先生



平成26年  
あじさいネット  
入会

**あじさいネットで  
情報共有がスムーズに、  
より意図が伝えやすく**

多職種連携では、拠点病院から在宅へのスムーズな移行を指していますので、その面であじさいネットがとても役に立っています。

進行癌の患者さんの場合、最初は拠点病院が主体となって診療や処方を行っています。徐々に緩和治療が中心となつてきて、こまめな処方の変更などが必要となった場合は、在宅医の先生方へお願いします。在宅側の方々があじさいネットに記録された自宅生活の情報を見て、

患者さんが拠点病院を受診する際の、患者さんとのコミュニケーションに利用することが患者さんの安心材料となり、スムーズな在宅移行が行われています。皮膚の状態が問題になつている患者さんの場合に、訪問看護師さんが記録してくれた写真が参考になることもありました。

また、あじさいネットを利用していなかった時は、診療情報提供書をどうするか迷うことが時々ありましたが、あじさいネットを使い始めてからは、あまり迷わなくなりました。在宅医の先生方が画像、画像レポートはもちろん我々が記載する経過記録も見る事ができるので、忙しいときは医師記録の中に在宅医の先生へのメッセージをそのまま書き込むことで情報提供書の代わりにすることもあります。よく連携をとらせていただいている在宅医の先生方とだからこそですが、情報提供書を書こうかな、書かなくても大丈夫かなというのを、あまり悩まずに済んでいます。気になる時は電話をして、「よろしくお願いします。あとカルテにも詳細を書いています。」と連絡しますので意図が伝えやすくなりました。

**多くの方々の利用で  
診療がさらに  
しやすくなる**

このように在宅医の先生方にカルテを見ていただくことで、外来時の詳しい内容を共有できているという安心感。病院側の大きなメリットだと思います。利用していただける先生が増えてくれば、さらにお互いの診療がしやすくなると思つていますので、是非もつと広まつてほしいと思います。

病連携はまだテスト運用中で、使っている病院の医師がまだまだ少ないのですが、あじさいネットを利用する病院側の医師が増えてくると、また色々な良い効果があるわれてくるんじゃないかと思っています。

**我が家のかわいい  
バスケットマンたち**

休日は、できるだけ子供と家内と一緒に家族で過ごしています。

最近、子供がバスケットを習い始めたので、ときどき子供用の小さいバスケットゴールがある公園や施設などに行つたりしています。

上が7歳の男の子で、下が4歳の女の子ですが、バスケット教室では下の子だけ特別ルールがありまして、試合中にその子がボールを持ったらみんな5秒間ストップするという特別ルールです。傍から見ていると面白く、とても微笑ましく見えます。

長崎大学病院(がん診療センター) TEL. 095-819-7779 E-mail: takuya-ngsunv@umin.ac.jp

《賛助会員様広告欄》



医療法人慧明会 貞松病院 様

『あじさいネット』で情報提供をしています。



**Heartful Cure & Care**

心からの治療と看護 それが私たちの姿勢であり理念です。



**オフィスメイジョン株式会社**

長崎市金屋町2-6 電腦BLD.  
http://www.nagasaki-om.co.jp

お問い合わせ **095-895-8188**  
(ヘルスケア直通)

**FUJITSU** 『あじさいネット』に協賛しています。

# あじさいネット からのお知らせ

## 広報誌に掲載する寄稿を募集します！

本誌「あじさいネットOFFLINE通信」では、これまで会員様のインタビュアーを中心に構成してまいりましたが、取材に行ける範囲に限りもあることから、今後は広く寄稿も募集することとなりました。

「あじさいネットのこんな便利な使い方もある」「こんな時に大役役に立った」といったエピソードが有りましてらぜひお寄せ下さい。先輩ユーザーの皆様の経験談が、ライトユーザーや入会検討中の方々の参考になります。

皆様にとつてより使いやすいあじさいネットになるよう、皆様のご協力をお願い致します。



皆様の経験談が力になります！

## 配信用の動画コンテンツを募集しています。

今号で紹介しました「医療関連ビデオ配信」のコンテンツについて、さらなる充実をはかるため、動画データを広く募集いたします。医療関係者向けの講演会や研修会について、演者または講師の許可を得られた動画であれば、編集・公開できます。

ご協力いただける方は、あじさいネット拡充プロジェクト室までご連絡ください。



忙しい医療従事者が、いつでも学べる動画コンテンツの提供を目指しています。

## あじさいネット に関するお問い合わせ・入会お申込み

### あじさいネット事務局（長崎県医師会内）

TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110

✉ [aj-na@nagasaki.med.or.jp](mailto:aj-na@nagasaki.med.or.jp)

## 編集後記

あじさいネットOFFLINE通信  
編集長 松本武浩

今年にあじさいネットTV会議（AMEC）が大活躍しそうです。もともと長崎県医師会での都市医師会代表者会議利用を念頭に、地域医療再生基金にて構築したのですが、単なる多施設間のTV会議だけでなく、様々な用途を前提に構築しています。相手先医療機関をサテライト会場として、県医師会館で開催される数多くの教育講演のAMECによるリアルタイム配信により、今や県内どこでも、受講できるようになりました。この「講演中継機能」は質問も可能で、既に8,000名以上が受講されています。また病院間の研修会・カンファランス利用として、8つの長崎県がん診療拠点病院間での年4回のがん登録研修会が始まりました。同様にがん相談支援部門においても準備が始まっています。それ以外でも国立川棚医療センターを中心とした神経難病に関する会議、長崎県認知症疾患医療センターを中心とした認知症に関する会議についてもAMECを使った多施設間カンファランスが企画されています。一方、退院時共同指導へのTV会議での参加が検討されていますが、これは次の診療報酬改定で評価される可能性もあると聞いております。

さらに、井上病院の吉嶺裕之副院長は専門の睡眠時無呼吸診療において五島の診療所・病院との間でAMECを使った遠隔診療（専門診療サポート）を始めました。

これら多くの方々のアイデアで、さらに有益な利用法が提案され、なお一層AMECの価値が増していくことに期待しています。

[ajisai-project@nagasaki.med.or.jp](mailto:ajisai-project@nagasaki.med.or.jp)



この広報誌のご感想をぜひ、あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せ下さい。



# あじさいな人々

たくまかずひこ



漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生  
(長崎市医師会所属/長崎在宅 Dr. ネット理事)